

データから見る川越町の状況

令和2年2月

目 次

| | |
|---------------------|----|
| 1. 川越町の人口等の動向..... | 1 |
| (1) 総人口の推移..... | 1 |
| (2) 年齢別人口の推移..... | 1 |
| (3) 人口動態..... | 3 |
| (4) 通勤・通学流動..... | 5 |
| 2. 産業の動向..... | 8 |
| (1) 産業別就業人口の推移..... | 8 |
| (2) 町内総生産..... | 10 |
| (3) 農業..... | 11 |
| (4) 工業..... | 12 |
| (5) 商業..... | 13 |
| 3. 都市間比較..... | 14 |
| (1) 人口の状況..... | 14 |
| (2) 生活環境の状況..... | 15 |
| (3) 都市基盤の状況..... | 16 |
| (4) 医療・福祉の状況..... | 17 |
| (5) 教育・文化の状況..... | 18 |
| (6) 産業・経済の状況..... | 19 |
| (7) 行財政の状況..... | 20 |

1. 人口等の動向

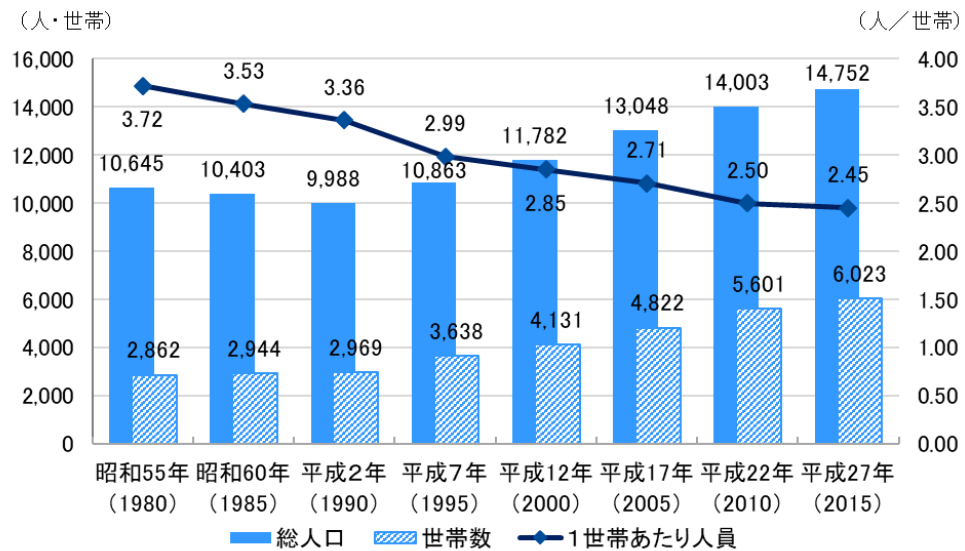
(1) 総人口の推移

川越町の総人口は、平成2（1990）年の9,988人以降増加傾向が続き、平成27（2015）年には14,752人と最も多くなっています。

平成20（2008）年以降の各年の推移をみても、平成29（2017）年まで緩やかに増加傾向が続いています。

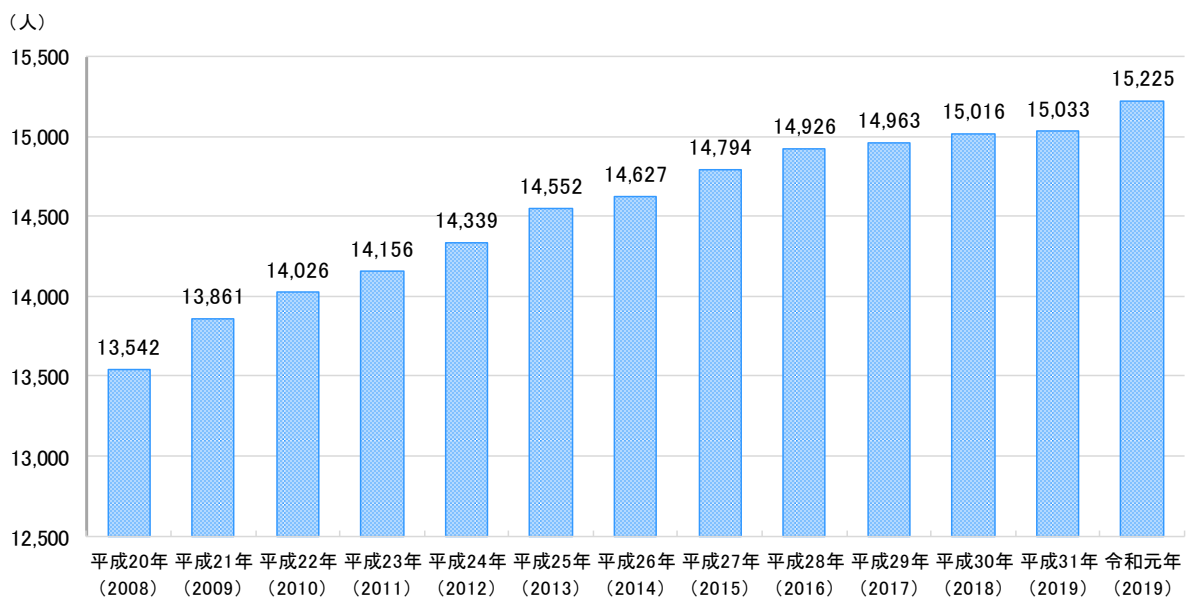
世帯数も人口と同様に増加傾向が続いており、平成27（2015）年には6,000世帯を超えています。一方で、1世帯あたりの人員は減少しており2.45人/世帯まで低下しています。

図表1 総人口と世帯数の推移（昭和55年（1980）～平成27年（2015））



資料：国勢調査

図表2 総人口の推移（平成20年（2008）～令和元年（2019））



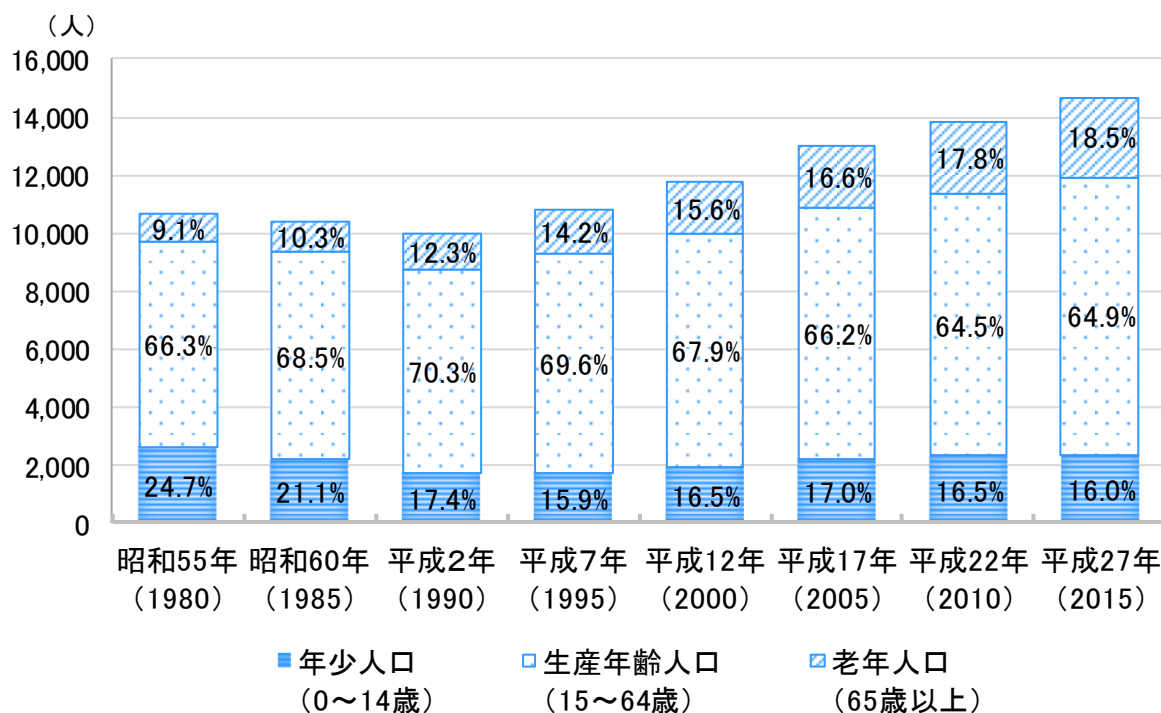
資料：住民基本台帳（各年4月1日現在（令和元年のみ12月1日現在））

(2) 年齢別人口の推移

年齢3区分別の人口の推移をみると、昭和55（1980）年から平成27（2015）年にかけて老年人口の割合が9.1%から18.5%へ一貫して上昇し続けています。

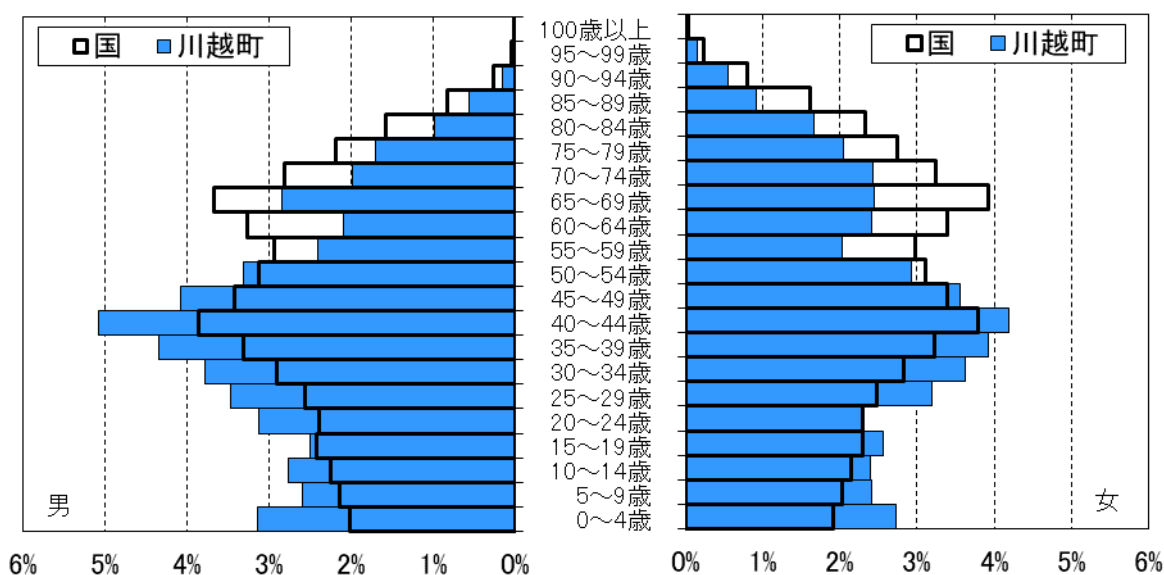
5歳階級別人口を国全体の構成比と比較すると男女ともに「40～44歳」の比率が最も高くなっています。国全体の構成比と比較すると、本町は男女ともに40歳代以下の比率が高く、55歳以上の比率が低くなっています。

図表3 年齢3区分別人口の推移（昭和55年（1980）～平成27年（2015））



資料：国勢調査

図表4 年齢5歳階級別人口の構成比（全国比）



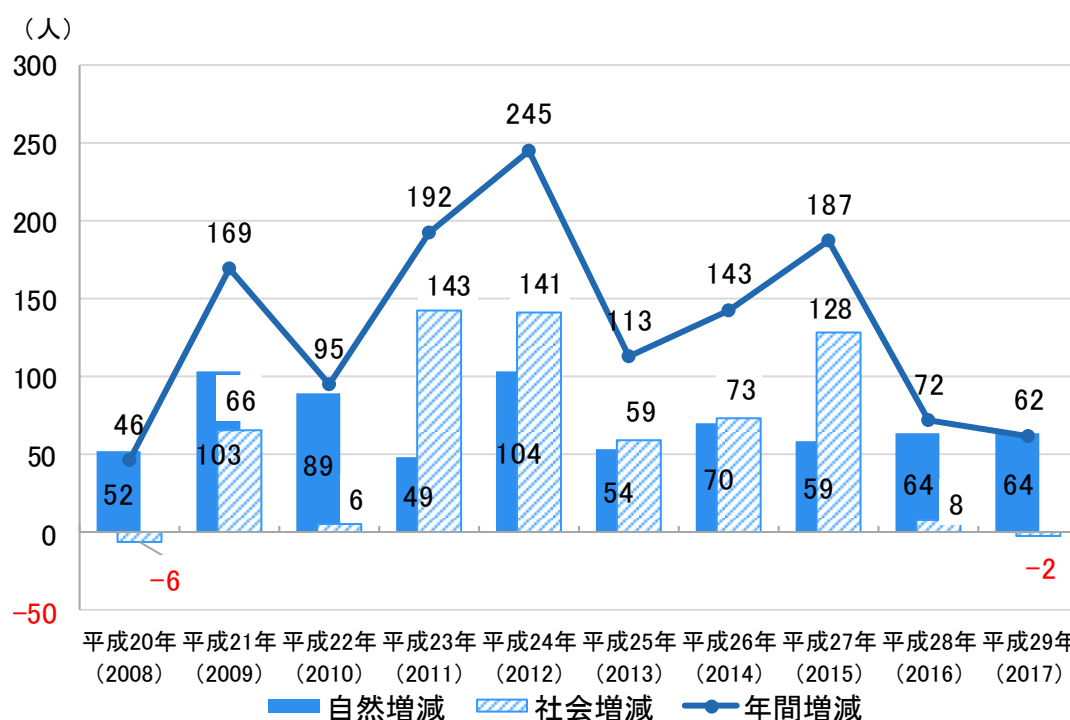
資料：国勢調査

(3) 人口動態

本町の人口について、出生数と死亡数の動きによる自然増減、転入者数と転出者数の動きによる社会増減をみると、自然増減は平成20(2008)年から平成29(2017)年までの10年間出生数が死亡数を上回る自然増が続いています。

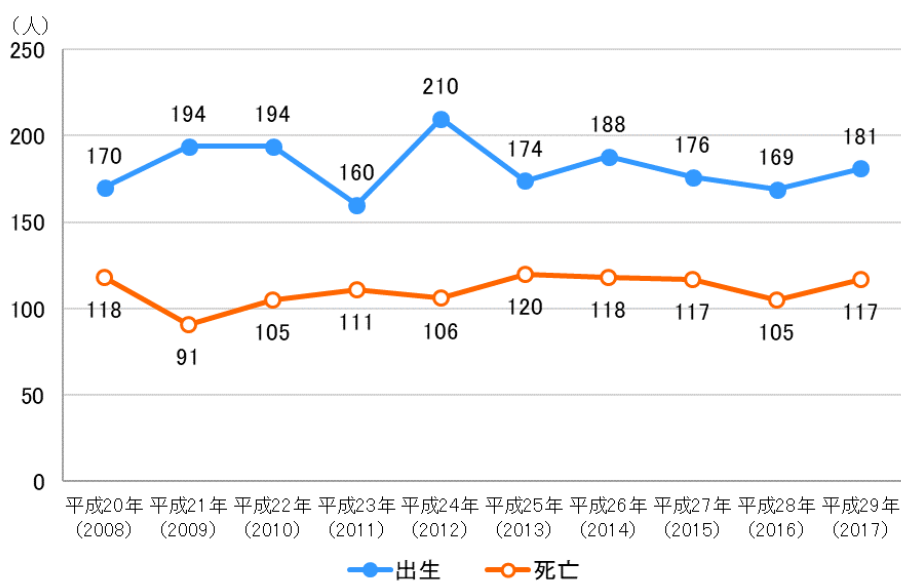
社会増減については、平成21(2009)年から平成28(2016)年までは転入者が転出者数を上回る社会増が続いていましたが、平成29(2017)年にはわずかではあります、社会減となっています。

図表5 自然増減と社会増減の推移



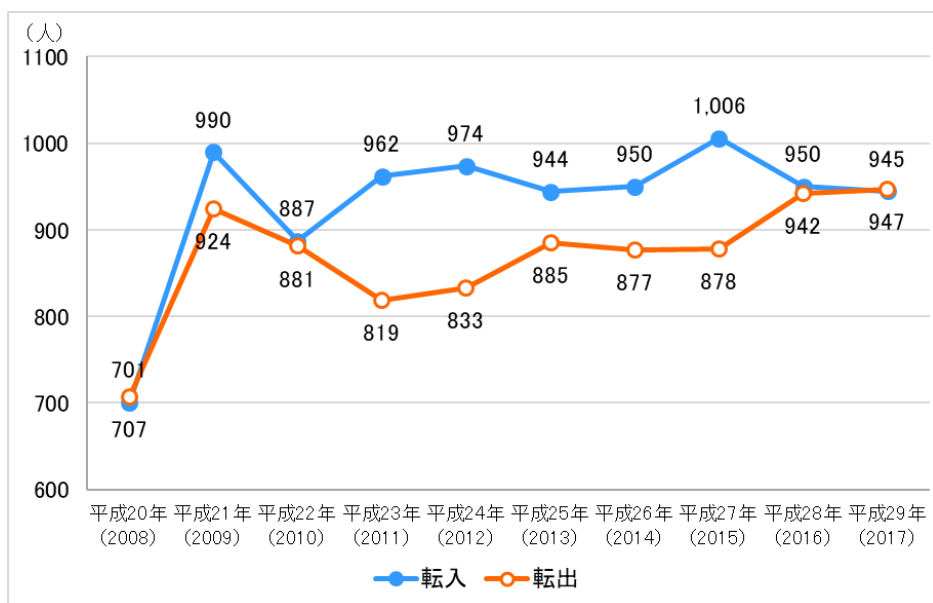
資料：住民基本台帳人口移動報告

図表 6 自然増減の状況



資料：住民基本台帳人口移動報告

図表 7 社会増減の状況



資料：住民基本台帳人口移動報告

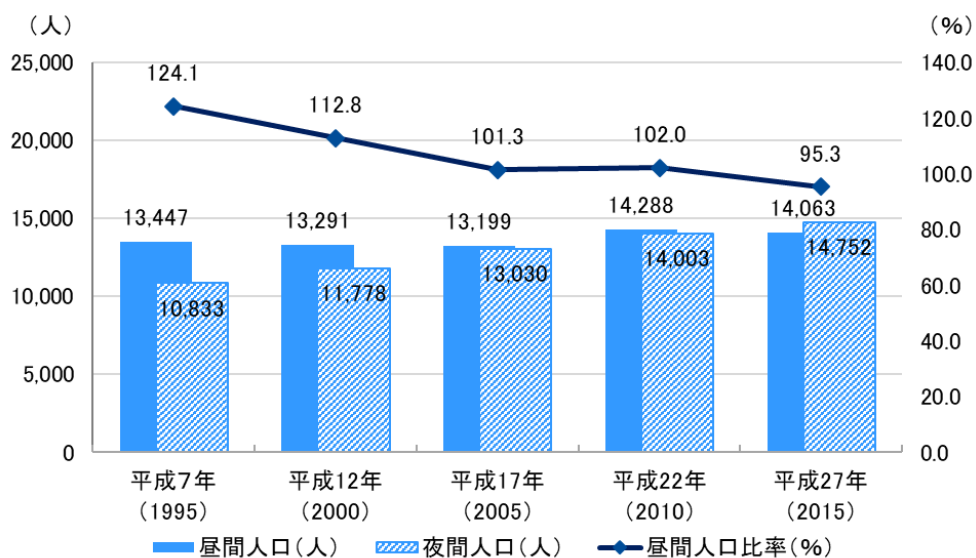
(4) 通勤・通学流動

本町の平成27(2015)年の昼間人口は14,063人、夜間人口は14,752人で昼夜間人口比率は95.3%となっています。

平成7(1995)年以降昼夜間人口は100%を超えていましたが、減少傾向が続き、平成27(2015)年には100%を切りました。

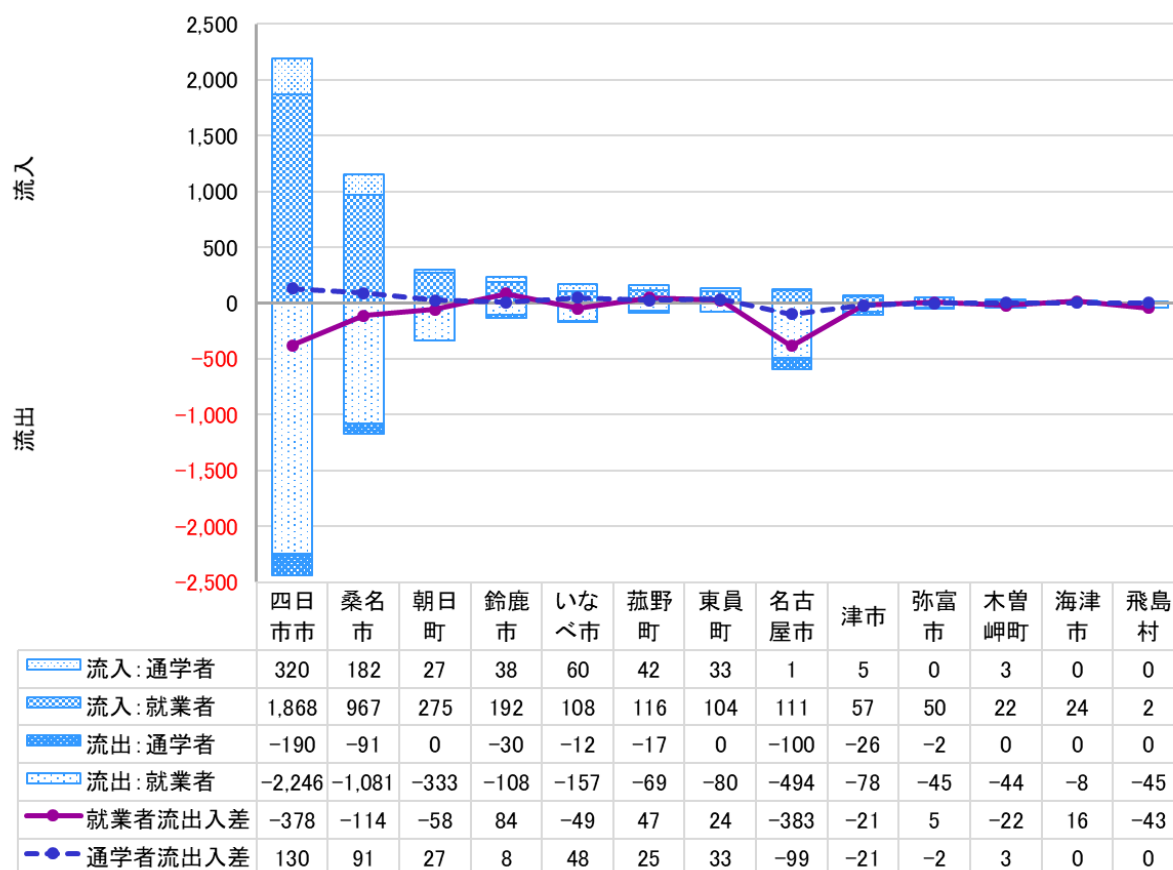
15歳以上就業者・通学者の流入市町村、流出市町村ともに四日市市が最も多く、桑名市や朝日町などの近隣市町村も多くなっています。県外では、名古屋市への流出が多く、特に通学者は四日市市の次に多くなっています。

図表8 昼夜間人口の推移



資料：国勢調査

図表 9 市町村別流出入人口



資料：平成 27（2015）年国勢調査

図表 10 流入人口

| 流入 | 総数(15歳以上就業者・通学者) | 15歳以上就業者 | 15歳以上通学者 |
|----------|------------------|----------|----------|
| 他市区町村に常住 | 4,899 | 4,188 | 711 |
| 四日市市 | 2,188 | 1,868 | 320 |
| 桑名市 | 1,149 | 967 | 182 |
| 朝日町 | 302 | 275 | 27 |
| 鈴鹿市 | 230 | 192 | 38 |
| いなべ市 | 168 | 108 | 60 |
| 菰野町 | 158 | 116 | 42 |
| 東員町 | 137 | 104 | 33 |
| 名古屋市 | 112 | 111 | 1 |
| 津市 | 62 | 57 | 5 |
| 弥富市 | 50 | 50 | — |
| 木曾岬町 | 25 | 22 | 3 |
| 海津市 | 24 | 24 | — |
| 飛島村 | 2 | 2 | — |
| 上記以外市区町村 | 292 | 292 | — |

資料：平成 27 年国勢調査

図表 11 流出人口

| 流出 | 総数(15歳以上就業者・通学者) | 15歳以上就業者 | 15歳以上通学者 |
|-------------|------------------|----------|----------|
| 他市区町村で就業・通学 | 5,569 | 5,036 | 533 |
| 四日市市 | 2,436 | 2,246 | 190 |
| 桑名市 | 1,172 | 1,081 | 91 |
| 朝日町 | 333 | 333 | — |
| 鈴鹿市 | 138 | 108 | 30 |
| いなべ市 | 169 | 157 | 12 |
| 菰野町 | 86 | 69 | 17 |
| 東員町 | 80 | 80 | — |
| 名古屋市 | 594 | 494 | 100 |
| 津市 | 104 | 78 | 26 |
| 弥富市 | 47 | 45 | 2 |
| 木曾岬町 | 44 | 44 | — |
| 海津市 | 8 | 8 | — |
| 飛島村 | 45 | 45 | — |
| 上記以外市区町村 | 313 | 248 | 65 |

資料：平成 27 年国勢調査

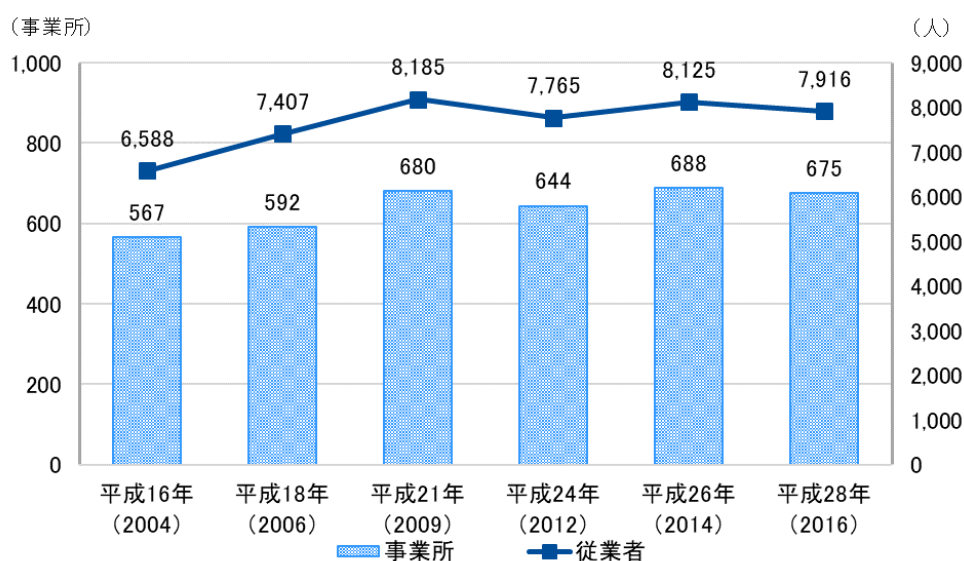
2. 産業の動向

(1) 産業別就業人口の推移

川越町の事業所数、従業者数ともに、平成16(2004)年から平成21(2009)年まで増加し、その後は多少増減しながらほぼ横ばい状況で推移しています。

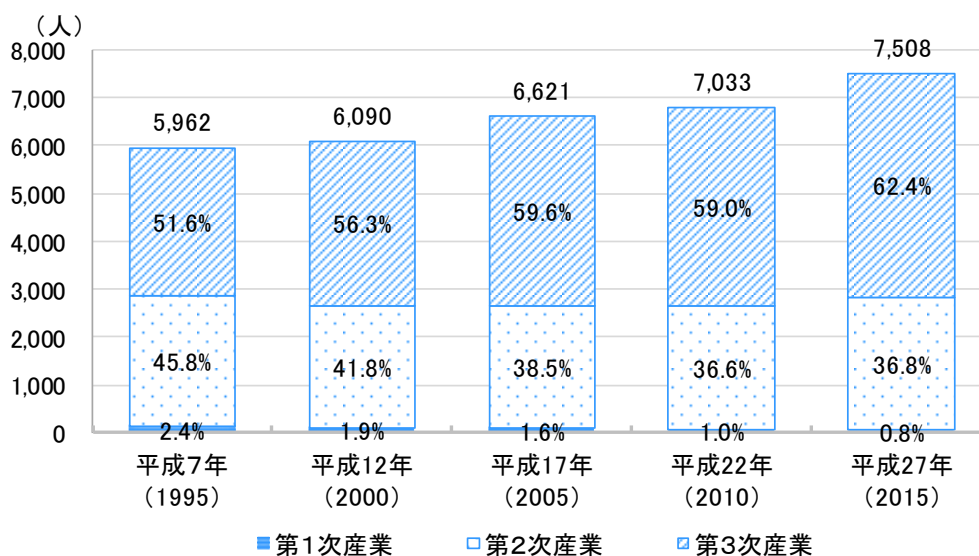
平成27(2015)年の就業人口は7,508人で、そのうち第1次産業0.8%、第2次産業36.8%、第3次産業62.4%となっています。平成7(1995)年以降は第1次産業、第2次産業ともにその比率は減少傾向にあり、第3次産業のみ増加傾向にあります。

図表 12 事業所と従業者数の状況



資料：経済センサス活動調査、三重県統計書

図表 13 産業別就業人口の推移



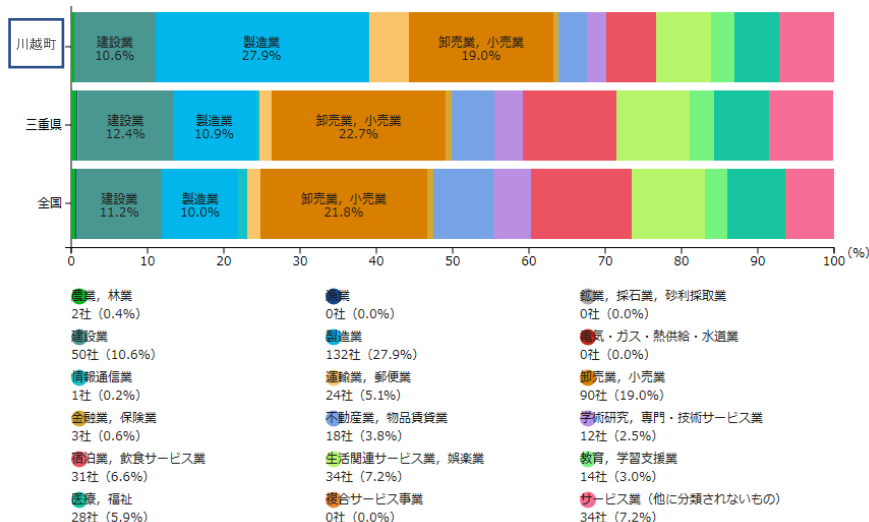
資料：国勢調査

川越町の産業構造を、企業数からみると、製造業が最も多く、次いで卸売業・小売業、建設業の順になっています。

売上高からみると、製造業が62.3%を占め、次いで運輸業・郵便業、卸売業・小売業の順になっています。

三重県、全国と比較すると、川越町は企業数、売上高ともに製造業の比率が高く、売上高では運輸業・郵便業の比率も高くなっています。

図表 14 企業数にみる産業構造の比較（平成 28（2016）年）

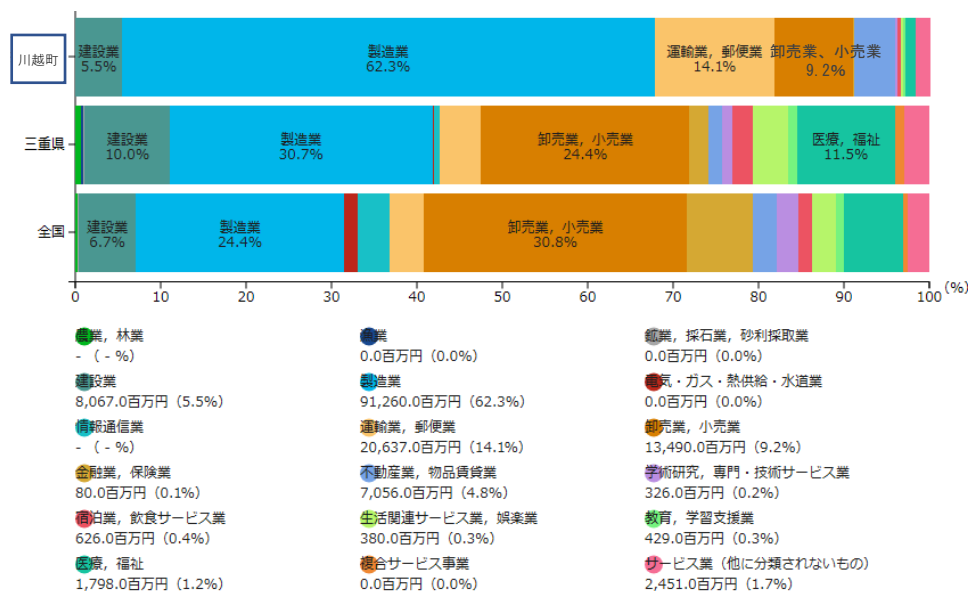


資料：内閣府「地域経済分析システム」

出典：総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」

再編加工

図表 15 企業売上高にみる産業構造比較



資料：内閣府「地域経済分析システム」

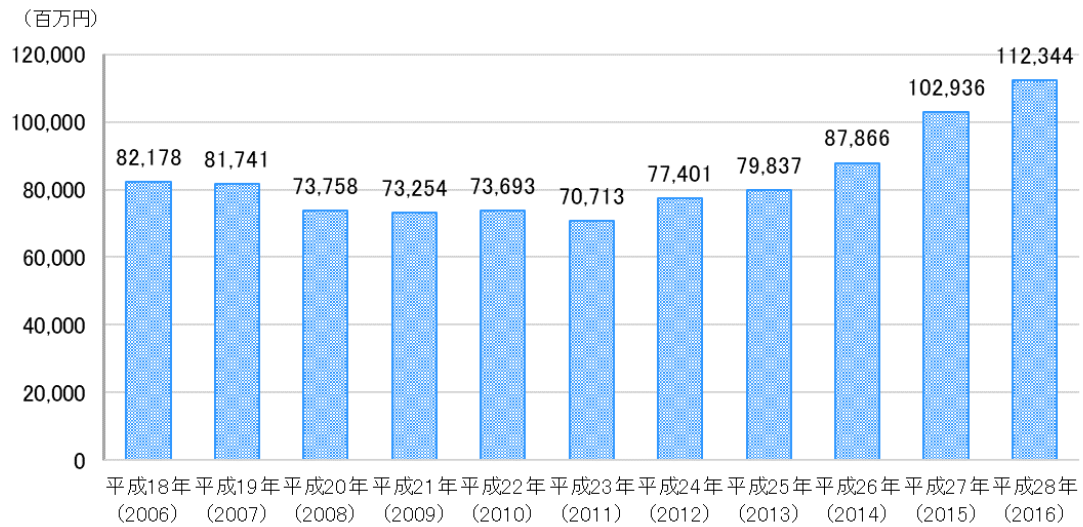
出典：総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」

再編加工

(2) 町内総生産

川越町の経済活動の規模を見るために平成18(2006)年以降の町内総生産額の推移をみると、平成18(2006)年から平成23(2011)年までは横ばいからやや減少傾向となっていました。その後は増加傾向となり平成27(2015)年には1,000億円を超えて、平成28(2016)年には1,123億円となっています。

図表 16 川越町の町内総生産の推移

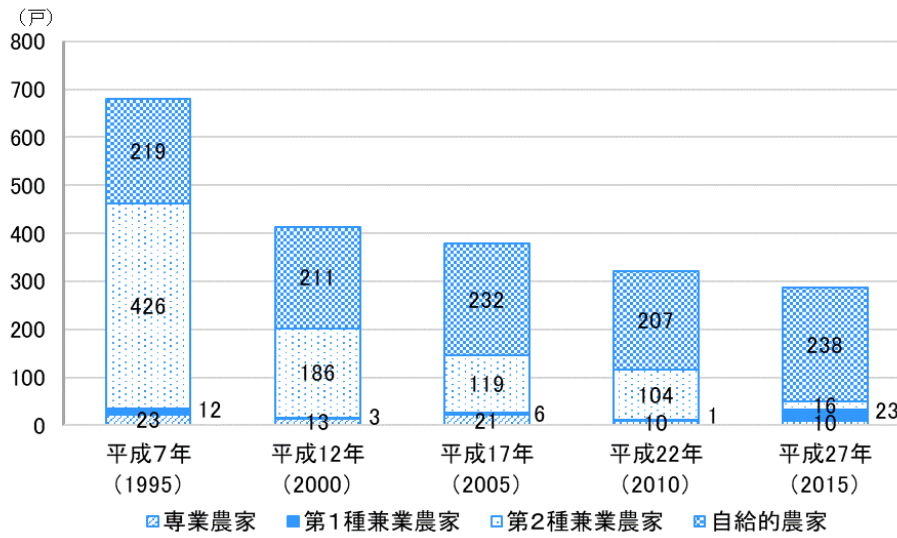


資料：三重県「三重県の市町村経済計算」

(3) 農業

川越町の農家数は、平成 27（2015）年で 287 戸であり、平成 7（1995）年から減少し続けています。

図表 17 農家数の推移

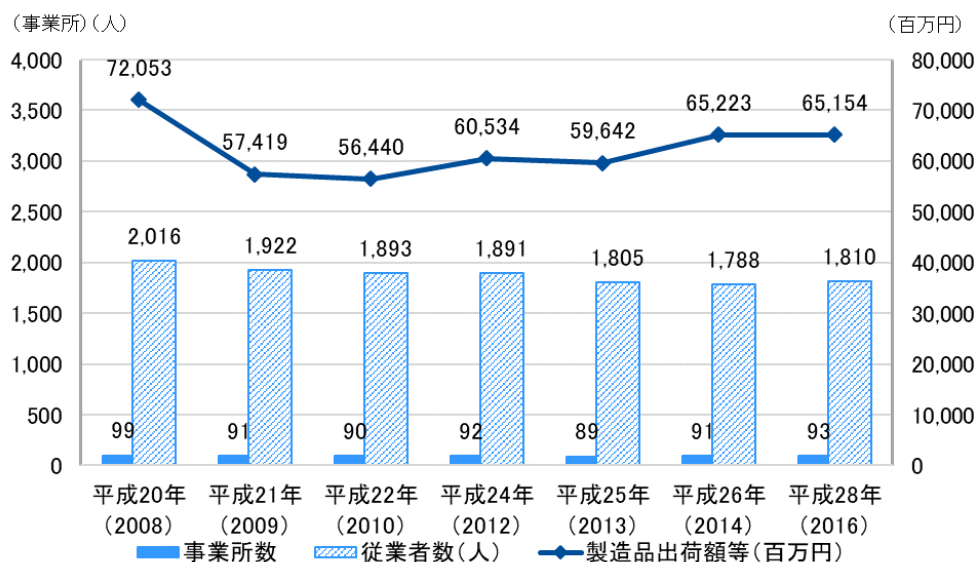


資料：農林業センサス

(4) 工業

川越町の工業について、事業所数はほぼ横ばいで推移しています。従業者数は平成20(2008)年から緩やかな減少傾向にありましたが、平成26(2014)年から平成28(2016)年にかけては増加しています。製造品出荷額は平成21(2009)年以降、多少の上がり下がりはあるものの、緩やかに増加しています。

図表 18 工業の状況

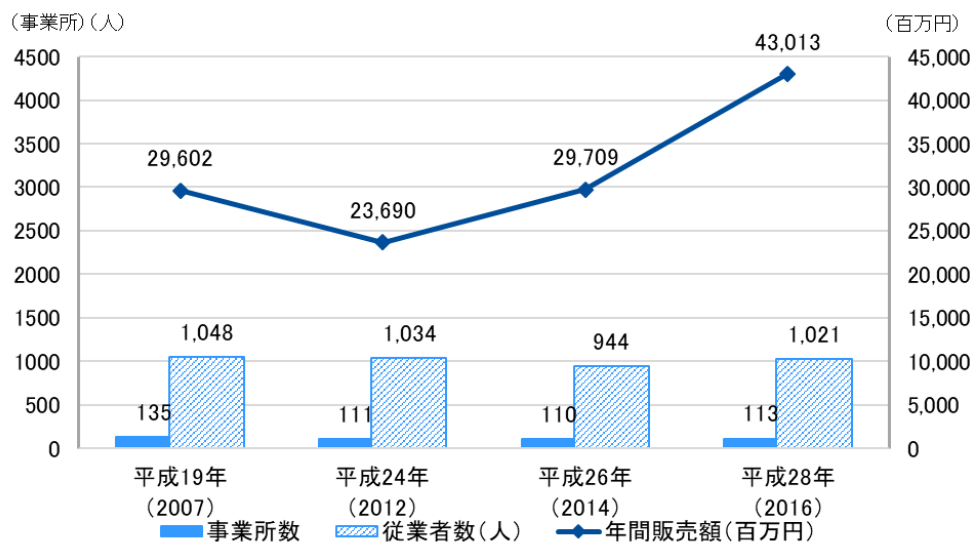


資料：経済センサスー活動調査（平成24年、28年）、それ以外は県統計課「三重の工業」。平成23年、平成27年は調査未実施

(5) 商業

川越町の商業は、平成 19 (2007) 年以降、事業所数、従業者数はほぼ横ばいで推移していますが、年間販売額は平成 24 (2012) 年以降増加し続けており、平成 28 (2016) 年には 430 億円に達しています。

図表 19 商業の状況



資料：商業統計調査（平成 19 年、平成 26 年。ただし基準が変更された）、経済センサスー活動調査（平成 24 年、平成 28 年）

3. 都市間比較

川越町の特徴を把握するため、県内の近隣都市と様々な指標について比較検証を行います。比較の対象とした近隣都市は朝日町、菰野町、桑名市、四日市市の4市町としています。

(1) 人口の状況

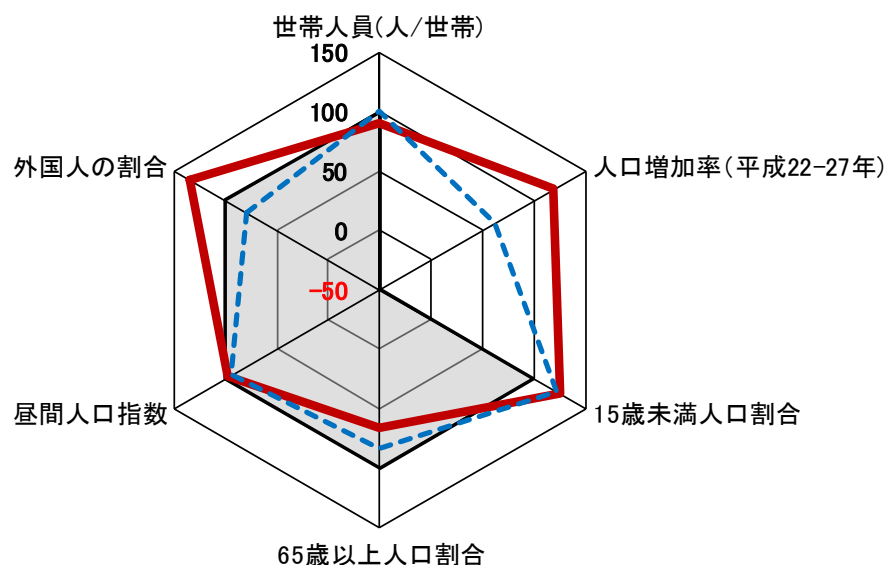
人口をみると平成22年から平成27年の人口増加率は、三重県平均が減少しているのに対して、本町をはじめ、近隣都市は増加しています。

本町の人口の中で65歳以上人口割合は近隣都市平均よりも低くなっています。

外国人の割合は、三重県平均、近隣都市平均よりも高くなっています。

| | 三重県 | 川越町 | 朝日町 | 菰野町 | 桑名市 | 四日市市 | 近隣都市平均 |
|------------------------|--------|--------------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 世帯人員(人/世帯) | 2.57 | 2.32 | 2.50 | 2.77 | 2.61 | 2.40 | 2.57 |
| 人口増加率(%) (平成22-27年) | -2.14% | 5.08% | 8.84% | 0.58% | 0.01% | 1.05% | 2.62% |
| 15歳未満人口割合(%) | 12.9% | 16.0% | 21.1% | 14.4% | 13.8% | 13.3% | 15.6% |
| 65歳以上人口割合(%) | 27.6% | 18.5% | 19.1% | 25.3% | 24.7% | 24.3% | 23.3% |
| 昼間人口指数(%) | 98.3% | 95.3% | 88.6% | 85.2% | 92.5% | 103.6% | 92.5% |
| 外国人の割合(%) | 1.7% | 2.3% | 0.8% | 1.3% | 1.6% | 1.8% | 1.4% |

 三重県
 — 川越町
 - - - 近隣都市平均



※三重県の値を100とした場合の川越町、近隣都市平均の値をグラフ化

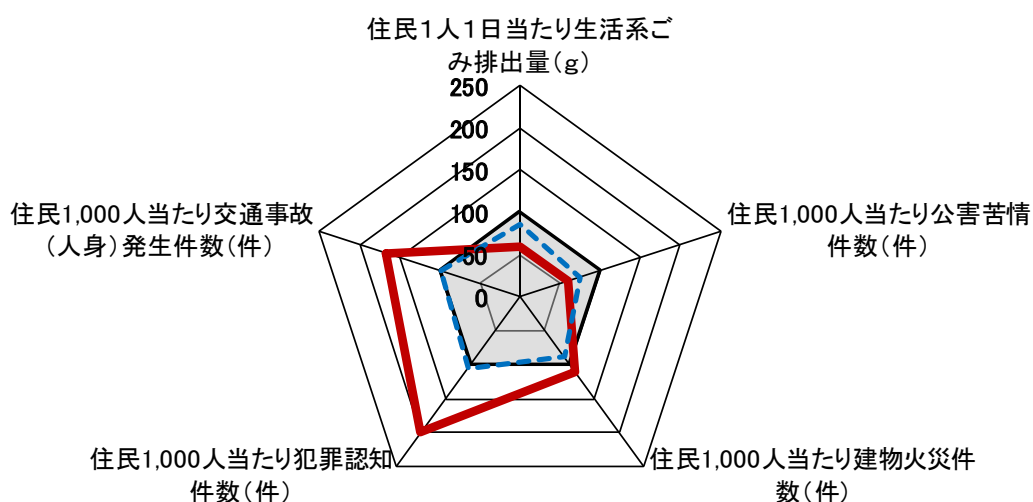
なお、「人口増加率」については、県の増加率がマイナスのため、県の値を-50として算出

(2) 生活環境の状況

建物火災件数、犯罪認知件数、交通事故（人身）発生件数において三重県平均や近隣都市平均に比べて高くなっています。

| | 三重県 | 川越町 | 朝日町 | 菰野町 | 桑名市 | 四日市市 | 近隣都市平均 |
|----------------------------|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 住民1人1日当たり生活系ごみ排出量（g） | 950.4 | 563.4 | 540.0 | 806.8 | 937.8 | 969.3 | 813.5 |
| 住民1,000人当たり公害苦情件数（件） | 0.67 | 0.41 | 0.38 | 0.77 | 0.43 | 0.44 | 0.51 |
| 住民1,000人当たり建物火災件数（件） | 0.18 | 0.20 | 0.19 | 0.17 | 0.14 | 0.14 | 0.16 |
| 住民1,000人当たり犯罪認知件数（件） | 8.36 | 16.68 | 9.56 | 5.65 | 10.55 | 9.49 | 8.81 |
| 住民1,000人当たり交通事故（人身）発生件数（件） | 3.33 | 5.56 | 3.31 | 3.23 | 2.59 | 3.86 | 3.25 |

— 三重県
— 川越町
- - - 近隣都市平均



※三重県の値を100とした場合の川越町、近隣都市平均の値をグラフ化

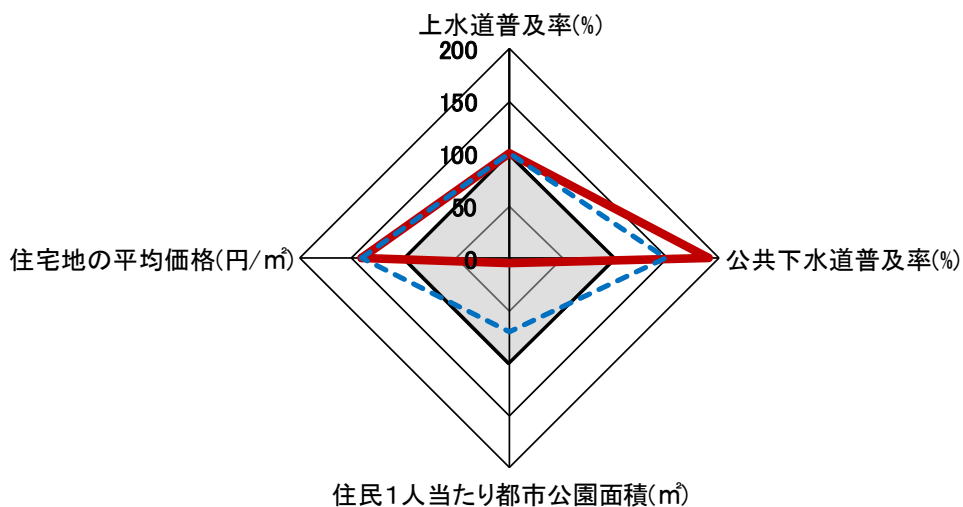
(3) 都市基盤の状況

上水道普及率、公共下水道普及率、住宅地の平均価格については、三重県平均に比べて高くなっています。

なお、川越町は都市公園になっていない公園が多いことから住民1人当たり都市公園面積は、三重県平均や近隣都市平均に比べて低くなっています。

| | 三重県 | 川越町 | 朝日町 | 菰野町 | 桑名市 | 四日市市 | 近隣都市平均 |
|--------------------------------|--------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 上水道普及率 (%) | 99.6% | 100.0% | 100.0% | 99.9% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 公共下水道普及率 (%) | 52.5% | 99.5% | 99.1% | 64.2% | 75.2% | 76.0% | 78.6% |
| 住民1人当たり都市公園面積(m ²) | 7.94 | 0.32 | 2.14 | 3.42 | 7.53 | 9.06 | 5.54 |
| 住宅地の平均価格(円/m ²) | 29,100 | 40,900 | 42,100 | 28,000 | 47,500 | 46,300 | 40,975 |

三重県
—
川越町
- - -
近隣都市平均



※三重県の値を100とした場合の川越町、近隣都市平均の値をグラフ化

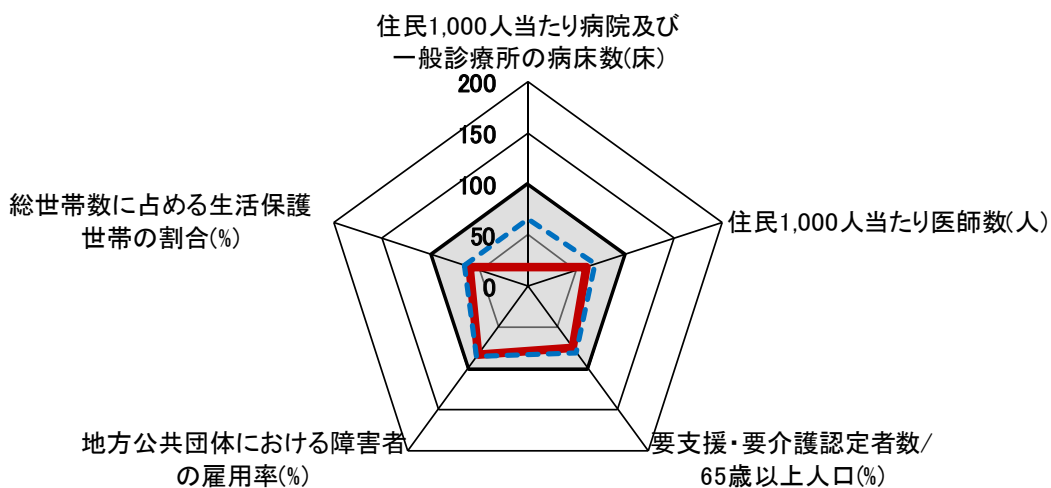
(4) 医療・福祉の状況

住民 1,000 人当たりの病院及び一般診療所の病床数や医師数、地方公共団体における障害者の雇用率については三重県平均、近隣都市平均に比べて低くなっています。

65 歳以上人口当たりの要支援・要介護認定者数や総世帯数に占める生活保護世帯の割合は三重県平均や近隣都市平均に比べて低くなっています。

| | 三重県 | 川越町 | 朝日町 | 菰野町 | 桑名市 | 四日市市 | 近隣都市平均 |
|-------------------------------|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 住民 1,000 人当たり病院及び一般診療所の病床数(床) | 6.93 | 1.29 | 0.00 | 4.75 | 7.08 | 6.30 | 4.53 |
| 住民 1,000 人当たり医師数(人) | 2.16 | 1.29 | 0.00 | 4.75 | 7.08 | 6.30 | 1.48 |
| 要支援・要介護認定者数/65 歳以上人口 (%) | 18.3% | 13.6% | 15.3% | 14.3% | 13.8% | 16.1% | 14.9% |
| 地方公共団体における障害者の雇用率 (%) | 2.73% | 2.30% | 2.22% | 2.00% | 2.66% | 2.38% | 2.32% |
| 総世帯数に占める生活保護世帯の割合 (%) | 1.78% | 1.07% | 0.41% | 0.61% | 1.48% | 2.16% | 1.17% |

— 三重県
— 川越町
- - - 近隣都市平均



※三重県の値を 100 とした場合の川越町、近隣都市平均の値をグラフ化

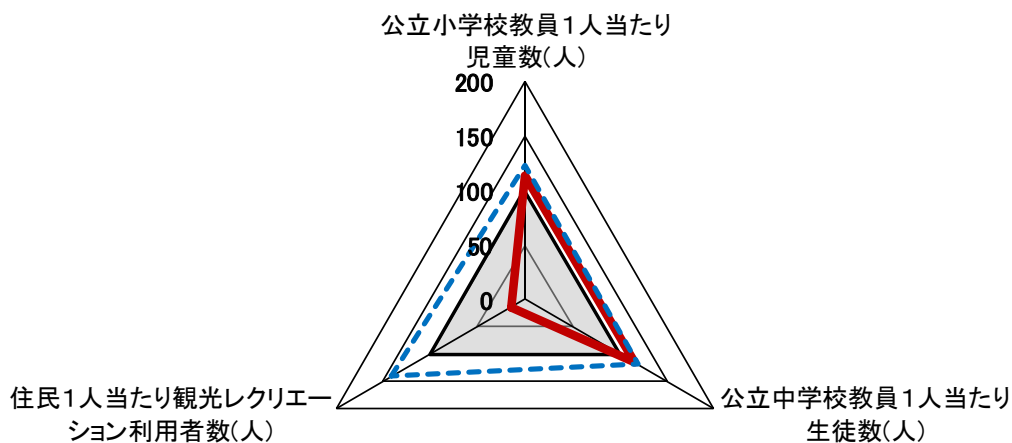
(5) 教育・文化の状況

教員一人当たりの児童数や生徒数は、三重県平均よりも高く、近隣都市平均よりも低くなっています。

住民1人当たりの観光レクリエーション利用者数は、三重県平均、近隣都市平均に比べて低くなっています。

| | 三重県 | 川越町 | 朝日町 | 菰野町 | 桑名市 | 四日市市 | 近隣都市平均 |
|--------------------------|------|------|------|------|-------|------|--------|
| 公立小学校教員1人当たり児童数(人) | 13.6 | 15.4 | 19.5 | 16.7 | 14.0 | 16.6 | 16.7 |
| 公立中学校教員1人当たり生徒数(人) | 12.6 | 14.6 | 16.7 | 16.0 | 13.4 | 14.1 | 15.0 |
| 住民1人当たり観光レクリエーション利用者数(人) | 39.0 | 5.8 | 31.6 | 57.5 | 129.0 | 2.5 | 55.2 |

 三重県
 川越町
 近隣都市平均



※三重県の値を100とした場合の川越町、近隣都市平均の値をグラフ化

(6) 産業・経済の状況

住民1,000人当たりの農業産出額は三重県平均、近隣都市平均を大きく下回っています。

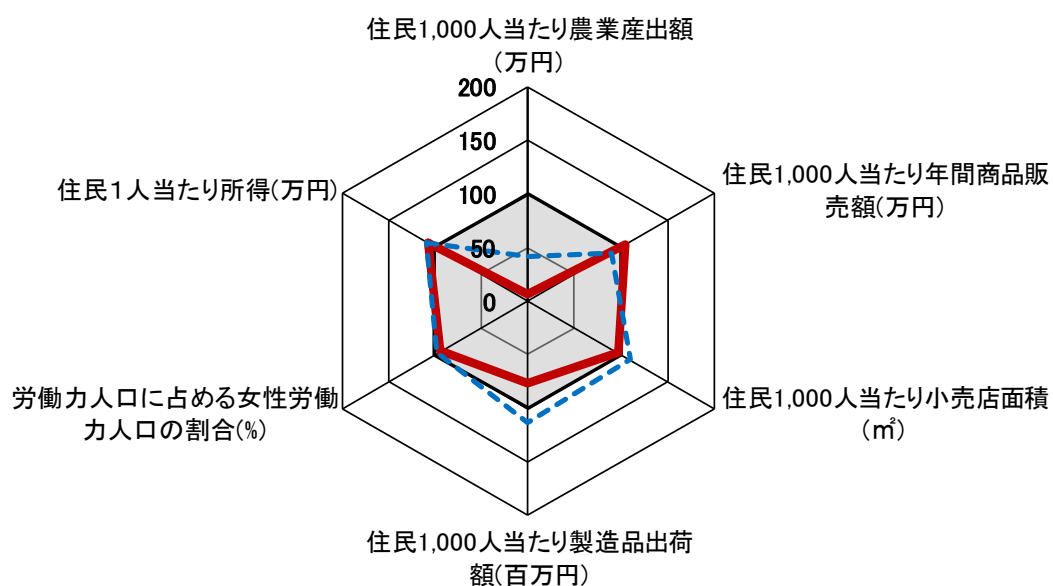
住民1,000人当たりの年間商品販売額は三重県平均、近隣都市平均に比べて高くなっています。

労働力人口に占める女性労働力人口の割合は三重県平均、近隣都市平均に比べて低くなっています。

住民1人当たり所得は、三重県平均に比べて高くなっています。

| | 三重県 | 川越町 | 朝日町 | 菰野町 | 桑名市 | 四日市市 | 近隣都市平均 |
|-----------------------------------|---------|----------------|---------|---------|---------|----------|---------|
| 住民1,000人当たり農業産出額(万円) | 6,096.3 | 406.7 | 1,041.7 | 3,979.1 | 2,152.5 | 2,774.6 | 2,487.0 |
| 住民1,000人当たり年間商品販売額(万円) | 1,911.9 | 2,013.9 | 845.4 | 1,380.3 | 1,969.0 | 2,616.7 | 1,702.9 |
| 住民1,000人当たり小売店面積(m ²) | 1,369.8 | 1,332.8 | 1,821.0 | 1,203.4 | 1,666.9 | 1,307.4 | 1,499.7 |
| 住民1,000人当たり製造品出荷額(百万円) | 5,805.9 | 4,421.3 | 9,597.0 | 3,754.7 | 2,881.4 | 10,223.8 | 6,614.2 |
| 労働力人口に占める女性労働力人口の割合(%) | 43.6% | 40.8% | 41.7% | 43.0% | 42.9% | 42.0% | 42.4% |
| 住民1人当たり所得(万円) | 355.6 | 382.1 | 383.8 | 358.0 | 367.5 | 438.4 | 386.9 |

三重県
 — 川越町
 - - - 近隣都市平均



※三重県の値を100とした場合の川越町、近隣都市平均の値をグラフ化

(7) 行財政の状況

財政力指数は三重県平均、近隣都市平均に比べて高くなっています。また、経常収支比率（地方税や普通交付税など毎年の収入に対し、人件費や扶助費など決まった支出が占める割合で、一般的に70～80%が適正水準と言われている）や実質公債費比率（自治体の収入に対する負債返済の割合）も三重県平均、近隣都市平均に比べて低く、財政的に健全な状態になっています。

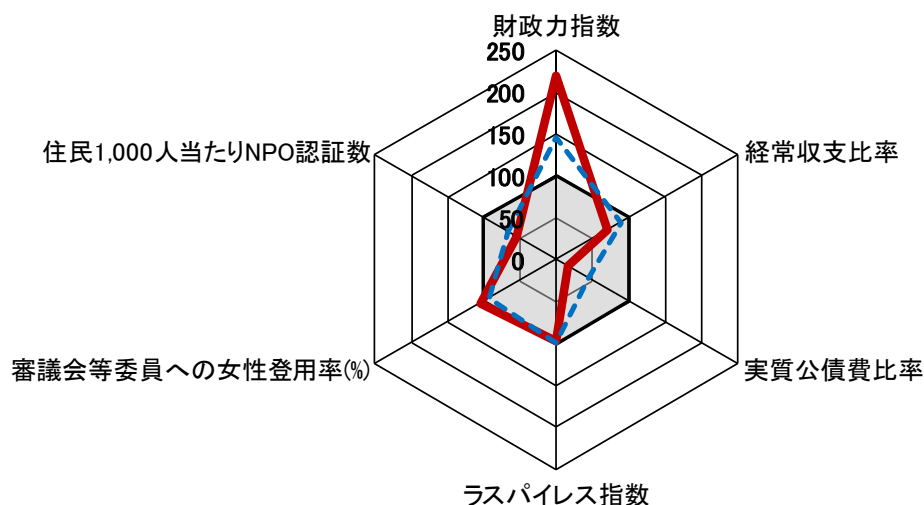
ラスパイレス指数（国家公務員と地方公務員の基本給与額を比較する指数で、国家公務員給与額を100としたもの）は、三重県平均、近隣都市平均に比べてわずかに低くなっています。

審議会等委員会への女性登用率は、三重県平均、近隣都市平均に比べて高くなっています。

住民1,000人あたりのNPO法人認定数は、三重県平均や近隣都市平均に比べて低くなっています。

| | 三重県 | 川越町 | 朝日町 | 菰野町 | 桑名市 | 四日市市 | 近隣都市平均 |
|---------------------|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 財政力指数 | 0.59 | 1.31 | 0.80 | 0.78 | 0.85 | 1.02 | 0.86 |
| 経常収支比率 | 98.0 | 68.0 | 76.0 | 87.8 | 98.1 | 83.7 | 86.4 |
| 実質公債費比率 | 14.2 | 2.2 | 6.0 | 1.1 | 10.5 | 7.8 | 6.4 |
| ラスパイレス指数 | 102.2 | 100.4 | 100.6 | 99.7 | 100.6 | 102.3 | 100.8 |
| 審議会等委員への女性登用率 (%) | 25.5% | 26.7% | 18.1% | 16.5% | 30.0% | 30.8% | 23.9% |
| 住民1,000人当たりNPO法人認証数 | 0.39 | 0.21 | 0.00 | 0.28 | 0.36 | 0.41 | 0.26 |

三重県
 — 川越町
 - - - 近隣都市平均



※三重県の値を100とした場合の川越町、近隣都市平均の値をグラフ化

■都市間比較データの出典と時点

| | 指 標 | 出 典 | 時 点 |
|-----|---------------------------------|---|-------------|
| (1) | 世帯人員(人/世帯) | 国勢調査 | H27. 10. 1 |
| (1) | 人口増加率《平成 22-27 年》 (%) | 国勢調査 | H27. 10. 1 |
| (1) | 15 歳未満人口割合 (%) | 国勢調査 | H27. 10. 1 |
| (1) | 65 歳以上人口割合 (%) | 国勢調査 | H27. 10. 1 |
| (1) | 昼間人口指数 (%) | 国勢調査 | H27. 10. 1 |
| (1) | 外国人の割合 (%) | 国勢調査 | H27. 10. 1 |
| (2) | 住民 1 人 1 日当たり生活系ごみ排出量 (g) | 一般廃棄物処理実態調査 | H28 年度 |
| (2) | 住民 1,000 人当たり公害苦情件数 (件) | 環境生活部地球温暖化対策課 | H28 年度 |
| (2) | 住民 1,000 人当たり火災件数 (件) | 市町累年統計表 | H27 年度 |
| (2) | 住民 1,000 人当たり犯罪認知件数 (件) | 市町累年統計表 | H27 年 |
| (2) | 住民 1,000 人当たり交通事故 (人身) 発生件数 (件) | 市町累年統計表 | H28 年 |
| (3) | 上水道普及率 (%) | 三重県の水道概況 | H30. 3. 31 |
| (3) | 公共下水道普及率 (%) | HP みえの下水道 | H29. 3. 31 |
| (3) | 住民 1 人当たり都市公園面積 (㎡) | 公共施設状況調査 | H28. 3. 31 |
| (3) | 住宅地の平均価格 (円/㎡) | 地価調査 | H30 |
| (4) | 住民 1,000 人当たり病院及び一般診療所病床数 (床) | e-Sat (医師・歯科医師・薬剤師調査) | H28. 12. 31 |
| (4) | 住民 1,000 人当たり医師数 (人) | e-Sat (医師・歯科医師・薬剤師調査) | H28. 12. 31 |
| (4) | 要支援・要介護認定者数/65 歳以上人口 (%) | 介護保険事業状況報告 | H28. 3. 31 |
| (4) | 地方公共団体における障害者の雇用率 (%) | 三重県労働局 | H29. 6. 1 |
| (4) | 総世帯数に占める生活保護世帯の割合 (%) | 三重県県勢要覧 | H28 年度 |
| (5) | 公立小学校教員 1 人当たり児童数 (人) | 学校基本調査 | H29 |
| (5) | 公立中学校教員 1 人当たり生徒数 (人) | 学校基本調査 | H29 |
| (5) | 住民 1 人当たり観光レクリエーション利用者数 (人) | 観光レクリエーション入込客数推計 (県観光局) 利用者統計 | H28 年 |
| (6) | 住民 1,000 人当たり農業産出額 (万円) | 農林水産省市町村別農業産出額 (推計) | H29 年度 |
| (6) | 住民 1000 人当たり年間商品販売額 (万円) | 商業統計 | H25 年 |
| (6) | 住民 1,000 人当たり小売店面積 (㎡) | 商業統計 | H26. 7. 1 |
| (6) | 住民 1000 人当たり製造品出荷額 (百万円) | 工業統計調査 | H26. 12. 31 |
| (6) | 労働力人口に占める女性労働力人口の割合 (%) | 国勢調査 | H27. 10. 1 |
| (6) | 住民 1 人当たり所得 (万円) | 三重県市町民経済計算 | H27 年度 |
| (7) | 財政力指数 | 総務省「主要財政指標」 | H28 年度 |
| (7) | 経常収支比率 | 総務省「主要財政指標」 | H28 年度 |
| (7) | 実質公債費比率 | 総務省「主要財政指標」 | H28 年度 |
| (7) | ラスパイレス指数 | 総務省「主要財政指標」 | H28 年度 |
| (7) | 審議会等委員への女性登用率 (%) | 男女共同参画局「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」 | H29. 4. 1 |
| (7) | 住民 1,000 人当たり NPO 法人認証数 (団体) | データでみる三重県の NPO 法人 | H29. 3. 31 |